

土砂災害を想定した合同防災訓練を開催



近年、局地的な気象がもたらす土砂災害が頻発しています。今回、大規模土砂災害の発災時における災害対応行動について確認・検証することを目的に、国、県、町、関係機関及び地区住民の参加による合同防災訓練を実施しました。

訓練は、進行役が想定した災害シナリオに沿って訓練参加者に質問し、回答を求める質疑応答型の「学習型訓練」という手法を用いました。この訓練では、参加する

他機関の対応行動を知ることができ、参加者からは「大変参考になった。今後の災害対応に役立てたい。」との好意的な感想をいただきました。

迅速かつ的確な災害対応行動には、関係機関の緊密な連携と情報共有が不可欠です。行政機関だけでなく地域住民も含めた、日頃からの顔の見える良好な関係が大切であると改めて認識することができた訓練であったと思います。

【土砂災害を想定した合同防災訓練】

日時：平成27年11月14日（土）8：30～12：00

場所：立山町営上東体育館（立山町）

参加機関：◆立山町◆立山町消防署◆富山県知事政策局防災・危機管理課◆富山県土木部砂防課◆富山県富山土木センター立山土木事務所◆富山県警察本部◆国土交通省北陸地方整備局◆立山砂防事務所◆陸上自衛隊第14普通科連隊◆自衛隊富山地方協力本部◆東谷地区自治振興会◆四谷尾地区◆谷口地区◆虫谷地区◆白岩地区◆目桑地区◆斜面防災対策技術協会富山支部◆富山県建設業協会立山支部◆立山神通砂防スペシャリエンジニア（順不同、19機関69人）

見学者：立山町議会、立山町内自主防災組織、県内行政機関など 74人

災害想定

気象状況

一台風の接近に伴う前線の活発化による**豪雨**

昭和44年の集中豪雨と同程度

【降雨規模：最大時間雨量59mm/総雨量614mm】

主な災害現象

一豪雨に伴う**（同時多発）土砂災害の発生** **四谷尾・谷口・白岩地区**

一深層崩壊による**河道閉塞（天然ダム）の形成** **虫谷地区**

一**大規模地すべり**の発生 **目桑地区**



応急対策を検討する



開会挨拶：長井隆幸
立山砂防事務所長



立山町



立山町
消防署



富山県防災・
危機管理課



富山県
砂防課



富山県
立山土木事務所



富山県警察



北陸地方整備局 立山砂防事務所



自衛隊



立山町東谷地区



富山県建設業
協会立山支部



斜面防災対策技
術協会富山支部



立山神通砂防
スペシャリエンジニア



見学者

一堂に会する参加機関

訓練会場の様子

講評



蜂勝彦
立山土木事務所長

土砂災害に特化した訓練は少なく、貴重な経験となった。訓練では、地元住民から適切な判断を示す回答があり、防災力の高さがうかがわれた。今回の課題を省み、訓練の積み重ねが、万一の判断に繋がる。今後に向けて改善してほしい。

閉会挨拶



舟橋貴之
立山町長

災害対応に関係する多くの機関が参加され、それぞれが担う役割があることを、壁の無いところで認識できた。今回を機に、顔の見える関係を築いて、災害に備えた体制を整えていきたい。